

部 長	安 藤 敏 基
研究主任	小 川 秀 和
部 員 数	2 3 名

1 研究主題

子どもたちが生き生きと活動する総合的な学習の時間の創造

2 はじめに

「総合的な学習の時間」は新学習指導要領全面実施に先立ち、平成 30 年度から移行措置として先行して指導が始まっている。また、令和 2 年 4 月より、各教科を始めとする学校全体の教育活動を通して、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力・態度を育成するために、自己評価である「キャリアパスポート」が始まった。小牧市内の小中学校においては、以前より自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てていこうと、各校ごとに独自でカリキュラムを作成し、実践を積み重ねている。本研究会では、子ども達がより生き生きと活動できるようにするために、各校でどのような実践をしているか、また、事前・事後にどのような指導を行っているか等を情報共有し、研究している。

3 研究経過

今年度は集まっての研究会を開催することができなかったため、研究テーマに沿って、各部員の勤務校において実践を積み重ねた。

4 研究の概要

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、教育研究活動を実施できなかった。例年通りの活動が行えない状況下で、子どもが今までと同様に生き生きと活動し、また学びが深まるよう、活動内容を精選しながら実践に取り組んだ。次年度は、本年度の取り組みと成果、新たに生まれた課題等を共有し、各校に還元できるようにしたい。

5 成果と今後の課題

新型コロナウイルス拡大防止を受けて、今まで当たり前のように行っていた活動ができなかったり、また大幅に縮小した形での活動になったりした。しかし、子ども達は限られた状況の中でも工夫を凝らし、より良い活動になるよう努力することができた。状況は好転せず、次年度以降も予定している活動がそのまま行えるかわからないが、これからも子どもたちが主体的に活動できるよう、創意工夫していきたい。